

学校の教育目標	○心身ともに健康でたくましくがんばり抜く生徒 ○よく学び考えて実践する生徒 ○規律を守り責任を果たす生徒 ○思いやりがあり社会に貢献できる生徒
----------------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 生きていくために必要な様々な知識や能力の獲得 2 学習に対する主体的な態度の育成 3 情報を収集し選択する能力の育成 4 適切に情報を処理し、まとめ、表現する能力の育成 5 自らの生き方を考察し、その実現に向け努力しようとする態度の育成

育てようとする資質や能力及び態度		
〈学習方法に関すること〉		
第1学年	第2学年	第3学年
目的に応じて手段を選択し、情報を収集する	必要な情報を収集し、多角的に分析する	相手や目的に応じて、論理的に表現する
〈自分自身に関すること〉		
第1学年	第2学年	第3学年
生活のあり方を見直し、実践する	自己の将来を考え、夢や希望を持つ	自らの行為に責任をもって意思決定する
〈他者や社会とのかかわりに関すること〉		
第1学年	第2学年	第3学年
異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する	互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する	社会に目を向けながら課題解決を行う

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	・自分の心と体 ・地域の伝統と文化 ・働くことの意義	・自己の成長と課題の確認 ・地域の伝統や文化のもつ特徴 ・さまざまな職業感
第2学年	・自分の心と体 ・地域と長野県の伝統と文化 ・職場体験と将来の設計	・自己の成長と課題の確認 ・林間学校の事前、事後学習と江戸川再発見 ・勤労の大変さ、すばらしさ
第3学年	・自分の心と体 ・地域と近畿地方の伝統と文化 ・進路選択と社会への貢献	・自己の成長と課題の確認 ・修学旅行の事前、事後学習と江戸川再発見 ・適切な進路選択と望ましい職業感

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
全学年35時間を読書科に充てる。1学年は10時間程度を、2、3学年は30時間程度を学年合同で、残り5時間程度を学級独自で行う単元とする	生徒の課題意識を連続して発展させる支援	教職員相互の共通理解による支援体制の樹立	指導と評価の一体化の充実